

バストス週報

第百九十二号
昭和廿八年
十二月六日
発行

REGISTRADOR
KOITI MORI
発行所
Rua Pres.
Vargas 188
Redator
Shion Oda
C.P.112
Bastos
電話
一ヶ年 60-
外部 70-

バストスに於ける 組合の合同は可能なりや

各方面の意向を探る

バストスは最近のさりと立ち直った
様である。経済的には個々の面から某団
へかけて大きく躍進したし、精神的にも
嘗ての混乱を清算して安住への巨歩を踏
み出している。

バストスの一元化なるかけ声は数年前
に於ては物心両面に安心観に欠けていた
為め軽く見送られてしまったが、一部バ
ストスの将来を真剣に考慮する人達によ
ってかすか下りも餘喘は保つていたのだ
である。

バストスが経済面で立ち直りつつある
とすれば、その危機を救った陸の力にバン
ブランテ、コチヤ、ジュケリ、など聖市に本部
を有する組合支部の力によること、この多
くの重責を思はなければならぬ。助け舟を
出してもらってバストス人は多少なりも
助け舟を、その救済力で今日の基礎を作り
どうやら安定観を勝ち得たのである。そ
の点大いに感謝しなければならぬが、助
け舟の楫点たる親舟の方は、頃合を見て
バストスの自立可能なりと見たらうは、そ
ろ／＼自ら手を引いてバストス人の総意
による組合、合同運動への道を開いてくれ
る襟度を明かにしてやらう。バストス
の自主性は、昔日の如く盛り上つてくる
と思ふのである。

バストス産業組合の危機といふものが
醸し出した不安がコチヤ、ジュケリ、を招
く大きな手がかりとなつた。バスターラ
テ組合の諸団は、おつと古くバスターラ
の盛時、養鶏家を顧みなかった時代、的錯誤に
よる、いづれにせよ小さな地域バスターラ
に四つの組合が纏張り、地盤を持つて各
々の指導方針によつて事業を、いつまでも
続けることは、朝鮮や日本の防備事情の爲
めに諸外国の軍勢力が駐屯する形とや、
似て居る点もあり、いつまでも便宜主義
に便乗して、一本に成ることを企及したい
局的)であることは、百も承知であり、大
今日近時にふれ折にふれ組合の一元化は
称へられながら、具体的に話し合ひの道
められぬのは、此の問題の中核をなす
人的要素に觸れるのがこわかつた為め
ある。

組合によつては事業達成の爲め次々と

Alfaiataria Maruyama

すばらしい
正月用だネ
僕のカサメント服
見てくれ給え
すてきたせ
マルヤマか？
モケ……
洋服の御用命は
皆さんの
マルヤマへ
ホリニアとあなたにも
上げます……



Rua Pres. Vargas Bastos

お正月の呑み過ぎは
ブレーキがききません
たゞし「わかもと」の御用意さへあれば
二日酔、連日の呑み過ぎも何のソノ
「わかもと」は胃腸をすく元のよう
回復してくれます

呑み過ぎに
わかもと



製造元 東京 わかもと製薬株式会社
伯國総代理店 聖市バリスラ製薬會社
社長 中久保益太郎
C.P. 三六五六

業務を拡張するし施設を増加し、運営が
複雑化してゆく。従つて一元化の具体的
な進展には一見複雑性を加へているよう
にも思はれるが、實際の面では事務的に解
決される問題であらうが、もっとも大々敷
しい点は、一元化問題を投じて、之を人の
人的な欠陥にあるのではなにか。
バスターラ人がいかに痛感しているかを先
探つて見なければ、(四頁へつづく)

バスターラ
代理店
西川薬局
垣薬局

Marca Registrada



Nippon 39271
Brasil T. 63186



當バストスに於ける

第一回本機講習會（去る十月）が大成功裡に終了致しました事は偏に各位の御聲援の賜物と厚く御礼申上げます

就きましては皆様の御希望に依り第二回講習會を開催することになりました故、奮って御参加下さるよう御奨め申上げます。

編物不二會
バストス支部

世界に誇る 高級品が、新生日本からはるくやって参りました。

最新式高速手編

不二式自動編物機

第二回バストス不二式自動編物講習生

市街地

不二式自動編機は在来の編物機とは全く性能を異にした、すばらしい自動手編機で、
「矢」が不要、自動的にメリヤス編ができる、美し模様編が簡単に編める。
○ 操作は至って簡単
○ 堅牢優美耐久力三十年
御買上の方は一週間無料講習の特典があり、支拂方法の御相談にも應じます

先生は、日本より派遣されました

伊藤 秀子 女史

助手 ポンペイア

竹山 先生
バストス 山先生
握山 先生

詳細は下記へ御照付下さい

御一執次第御説明申上ります

- | | |
|---------|---------|
| 西本 美枝子様 | 西野 ムリ子様 |
| 梶田 さよ子様 | 小西 恵子様 |
| 矢野 保子様 | 古賀 栄子様 |
| 古田 きみ子様 | 平井 みち子様 |
| 亀田 雪枝様 | 岩崎 ちえ様 |
| 寺岡 ちえ様 | 本田 光収子様 |
| 小沢 八重子様 | 横田 きみ子様 |
| 今井 みち子様 | |

- | | |
|---------|---------|
| 山本 栄子様 | 戸 未るい子様 |
| 新谷 様 | 萩原 敏江様 |
| 渡部 美代子様 | 古賀 繁子様 |
| 山田 きみ子様 | |

第二回申込者芳名

- | | |
|-----------|----------------|
| カスカタ 東栄子様 | エスベラサ正 木村下 芳枝様 |
| 中沢 福臨 未子様 | 中沢 光石 竹野様 |

不二式自動編物機
バストス支部 代理人
ソウルガス街

西本 清人

御投資なさるなら!!!

今、貴山しのパウリスタ不動産会社の

ビラ・プログレッシブ高級住宅地

。。。。。パウルー市接續地。。。。

御奨めいたします

- 一 地権は確實
- 一 格安にて
- 一 拂込條件が楽な
- 一 知らず知らずの中に
御自分の宅地になる

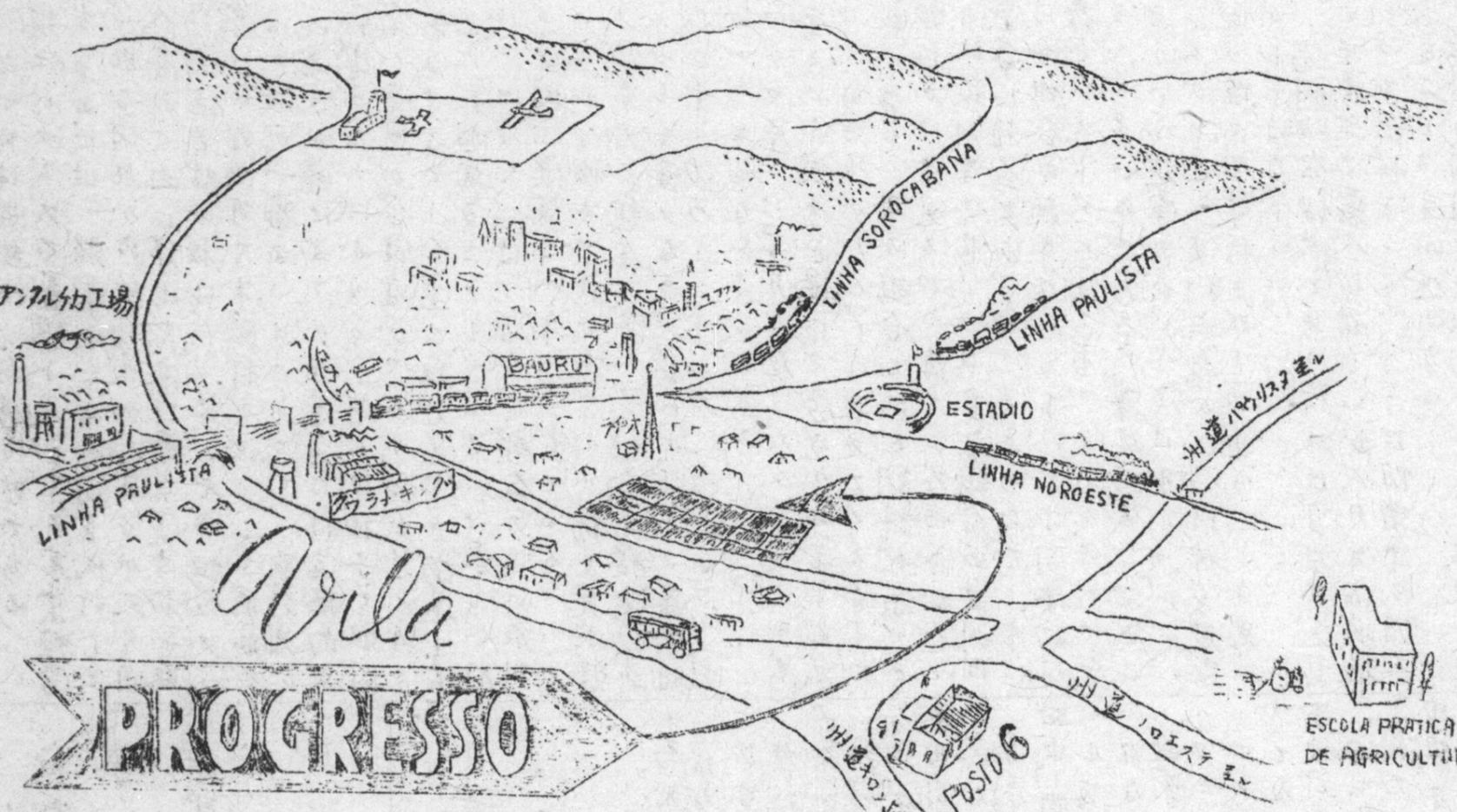
御子供様方の
よい貯金

パウルー市 ビラ・プログレッシブ住宅
地購入者芳名 (バストス也)

- 市四 光石 竹野 様
- カスカッタ 山下 正一 様
- シヤーカーラ 寺園 治 様
- 本田 正 雄 様
- サルワラ 山田 武一 様
- サウネ 白岩 義 様
- 木口 正 兄 様
- 戸来 金太郎 様
- 戸来 幸 様
- 古賀 茂 様
- 西川 一 様

詳細は左記へ御問合せ

下さい



パウリスタ不動産会社

バストス株主 西本清人

(二頁下段より)

ならぬ。個別にその意見を質して見ると一部は例外は別として概ね、合同一元化に賛成をするが、各個人の生業をついける上に必要欠く可からざる取引先をもちつて居る為め、息肩の問題として合同化を考へないのは当然といへば当然である。

現在バストスで養鶏を主とする農業経営をするには、販賣購買の両面を代行してくれる何れかの組合に加入するが又は個人商社で之に準じた商行為をする者も取引関係と結ばねばならぬ。その組合又は商社がなる可く手数料を少くして買入れは、それが一番よいのであつて、取引先が太ろうが薄せようが生産者には直接的な影響がないばかりが、何かの拍子で取引先と意見が合はなかつたり、仲が悪くなつたりすると、今迄の取引先申を敬遠して乙に転替することもしして大に敷しいわけではなく、いはゞ自分に都合のよい取引先を撰ぶ便宜さへ手へられつて居る。

それは恰も市井の商店から物を買ふ購入消費者の態度と等しく、組合未発達以前と少しも変わりなき心構へで新しい農業時代を乗り切ろうとする時代錯誤をこゝへ教がついて居ないようである。

コチマ屋、ジュケリ屋、パンネランテス屋といふ屋号を掲げて居るかのようと思つて居る人がだん／＼と追えてくるように思はれる。甲の組合である飼料が高いと鏡にかけて見る如く直ちに乙丙の組合との比較がなされ、一見多数組合の並列は農家に利益である如く見えるので、中には四組合の競争は知らず間接的利益をバストスに備らうと考へて居る人も多いのである。事實過去に於ては、さういふ現象も無いことはなかつた。しかし、この便利主義が組合精神を農家から除々に骨抜きにして居ることを見のがしてはならない。

協同組合組織とその精神は資力の乏しい生産者や農人が激しい現代の生活機構の中で落伍をしないよう防衛する楯であることは言ふ違もない。

組合の利用者一人々々が真に組合を理解するのでなければ、その組合の正常な発展はあり得ない。コチマの如く既に大なる機構を完成してしまつた組合でも理論的に同じ事が言へるのである。さういふ組合組織の重要な一面には親をそむけ、只機構運営の自己にとつて便宜な点だけを利用せんとする人にとつては組合は「商舖」と何らかのわづらひとこゝろはない。各組合の主張が多すぎる為めにバストス人は便宜がよすぎた、真に心を寄せあつて一人前の合前にあづかつてゐる。あつたか、前人が作り上げた立派な道路を何の感謝も感ぜないで歩く行人と等しいといつたり腹を立てるであらうか(以下次号)



ムーラ 一頭
馬具附

右御希望の方にお譲り致します
馬とカロッサ別々にでも宜敷し。
左記へ御訪ね下さい
カスカツタ區ニ組ニ二番
辻 新 作

座談會 7
バストスを再検討する

水馬氏の話のつゞき
バストスの野菜と愛土精神

「私の方の組合では六百コントの金を投じて、技術移民を呼寄入國させたといつて居ります。」

桑原「やはりそれは農業移民でせうな、養鶏移民と云つてはおかしいけれど。」

谷口「それは養蚕移民でも同じでしよう。」

本田司會「田中さん、野菜は郡植創樹時代は、先日の會合にお席して見たら、辛辣だったようですが。」

田中「霜の爲めに野菜がやられたこと、ア、ルビの様なものが一度に多く出て売れない時などの話だらう。霜の爲めに野菜のセメントがなくなるかと、フラッコになつたといふようなことはない。ワンドリナ送り出してはうまく行つてゐる。」

本田司會「そのアルビの話をすね、せ口のなつて、こつたといふ不平ささくのだが。」

田中「それは出荷の多寡に因る。保存のきつと出廻れば、おまけに各地から、今はずいぶん値になつてゐる。」

本田司會「コントロールは出来ないので、それは、販売統制が出来て居ないので、それは、六ヶ敷しいでせうな。」

司會「生産者と消費者との間に立つて調整出来ないので、すか。」

田中「バラナ入り込む野菜は大したもの、です。各地から入つてくるんだ。」

司會「いや、私は全伯的に勢力をもつて居るコチマだから、或はさういふ方面にも統制力をもつて居るかと思つたんだ。」

田中「コチマは各地に示おジツトを持つて居るが、必ずしも全伯的ではない(五頁へ)

開設當時のバストスの

思ひ出 21

バストス病院の誌 前承

或る日岡山果出身のクワリア第一区十九号
垣内源太郎氏が仮業局に現はれて検査巻
を求めた多分十四、五ミルのものであったろうが
其の支払ひもせずに出て行くから、其の代價を
請求した処、威嚇高になつて、業局は吾等
植民者のものである、そんなものを要求する
法があるか」とあべこべに、まくし立てられて、当
時未だ若かりし佐々木助手もほとく持てあ
まし、親方の所へ相談に行つた処、細江さんカン
カンに怒つて不都合な事を云ふ無茶者には一切
葉をやらぬと云ふような押問合の一幕も今は昔
の誇り事とは相成つたが、此の様な常規を逸
した行為は例外ではあるが大体當時の氣風
が、どのようなものであつたか察せられ、院病側と
しても大体骨が折れた事であろう、垣内氏が今
も尚健在なは何処かで微笑して御座ること
にやろう。

斯かる状態であつたから葉價手術料等々
の貸付が遂には莫大な額に上り其の回収には困
難した、本郷かとも時々注意を受けたが土地代
の請求の様な訳には参りず、担当員の努力
で幸うじて功り抜けて来た、若し普通民間の
病院であつたら恐らく一二年で閉鎖した事であ
らう。

移住地入植者が年々増加するに従ひ患者もそ
れに正比例し、時には傳染病患者も收容せねば
ならぬので隔離病舎の必要を生じたので、病院
裏に約三十五米高れて木造ではあるが二十五
米に八米で裏に炊事場の附屬した二重壁の
ガチリしたもの建つた、中には臨機に同仕
切りが出来るように大きな一室となつて居る、今
は殆んど使用の必要はなくなつて居るが建物
が良いから何にか他に利用の道があるだろう、
一九三四年ドトルエリネウが細江先生の紹介
に依り未任せられて、初め正規有資格の医
師を迎へたので久しくランシヤ市のフルケン医
師の御世話になつて居つたが、それと同時にバ
ストス病院の責任者としての職を解いた。

其の頃特に移住地在植者の保健衛生の爲
めに陛下より御下賜金の御沙汰があつた、この
尊い恩賜の御内帑を永遠に記念するには
如何なる方法、形式を採る可うか、熟議の結果
本郷の希望もあり、時恰も病室の狹隘を感

御 礼

此の度(十一月廿九日)發起人様方

石橋長忠、池田信次郎、畑中仙次郎、
橋本忠義、西 輝一、細江 菊
織田平男、藤尾作市、大野英雄
梶田伊勢格、古浦秀次郎、谷口 章
山中三治、榎 常 孝、佐藤福太郎
古田義格、霜出 静一、の諸氏

の御世話により、故上田平吉の一周忌
法要を御營み下さいました事につき遺
族一同厚く御礼申上げます。

長年住み馴れた御地で、然も生前御厚
誼を頂いた多勢の皆様にお困まれ、御焼
香を賜りました事は、又となき法悦で故
人も無き満足であつたこと存じます。法
要には生成の家誌友方の御骨りで立派に

祭壇をこつらえ、御篤信の方々に難有い經
文を誦して頂き、その上教この花輪、御供物
御香奠など賜はり御礼の詞も御座いますね
一々御礼状差上げ可うで御座います、が失礼な
ら紙上と藉りて御礼を述べさせて頂きます。

尚此後とも宜敷御指導賜けます様
御願申上げます

一九五三年十二月一日

- 上 田 つる
- 上 田 英吉
- 上 田 精二
- 上 田 剛平
- 上 田 平八郎
- 上 田 秀吉

(在インマイヤツバ市)

バストスの各位様

して居たので結局恩賜病棟を建築するの
が最も其の主旨に適合であらうと、之れ
を基金として広く一般在住者よりも寄附
金を募集して約三〇〇コントスを得て八米
×二〇米病室十部室、病院の裏隔病舎と
従末の病室との中間に立派な永久的本建
築物が落成して一時在住者の多かつた時
には病室も満員になった事もあり、等し
く其の恩恵に浴したものであるが、遠く母國
を離れて居るブラジル在住の民衆に迄で
鴻恩の及ぶ、誠に難有い極みであつた。
在住者も其の点記憶を新にして將來共善
処すべきである。

前述の通り如何に各医でも當國の資格が
なければ同業する事が出来ないの法現
に從つて初代医師内田さんは在植八目に
して受診の爲の返任り市へ行かれて約
一ヶ年位で創設簡單に其の資格を修得せ
られたが二代目院長細江さんも素よりそ
の必要があつたので其の準備に着手せし
られたが此の頃は既に規定によつて資格を
得る制度がなくなり、医科大学卒業の者に
限り伯國醫師たり得る制度に代つたので
其の時から容易ならぬ細江さんの苦闘が
始まつたのである。斯る關係上り才医大
に席を置かれ一定期間同り才出府の必要が
ありバストスを長く留守にせらるる事も
多かつたので代診として石井恒氏が見え
た。今氏は元來日本の齒科医学校出身
であるから本職の齒科医として造詣深
は勿論、医術の経験もあつたので、細江さ
んの才力が中イリホウさんと共に其の
留守を守られたのである。

常識的満博識の人で、医術の他にも色々
の話を聞いたものであるが、退職後も一時
バストスに於て齒科医を同業せられたこ
とがある。細江さんが長期滞在の後
久し振りに帰植せられると、必ず移住地の
各處を隅々迄歴訪せられて衛生状態を見
届けるののが常であつたが、之れは一つ
には植民者の要望でもあり、院長として
の責任も感ぜられたにも依るのである。
斯くして一九三五年頃のバストス病院
は内容外觀共に充実して遺憾なくバスト
ス病院の最も華やかな時代であつたが、そ
れ迄に育て上げられた細江さんの努力は
並大抵ではなかつたが、御本人として大
事な医師資格獲得の準備の爲めの勉強も
必要であつたので、在住者一同が、いたく
惜まれ乍ら其の年の末にサンパウロへ移
轉せられた後、時には若い者と共に夫役
の義務を果す可くリニマテキロをも終
へるような苦悩もせられたが結局永い内
の勉強が遂に汝を玉にせられたのである。
サンパウロ市へ移転後もバストス病院
には多大の関心を持つて色々と御世話
せられた多くのバストス人も御石介になつ
たものである。(未完)

筆者は 畑中仙次郎氏

死亡御通知 及
會葬 御礼

夫 山内三左エ門儀、御承りて病氣の爲
バストス病院へ入院加療中の処養生
相不叶、去る十二月一日午前九時永
眠致しました事、辱知各位に謹告申
上申す。
依り翌二日午後一時自宅出棺バスト
ス墓地に埋葬仕りました。処葬に際
しましては、炎暑の候、遠路御辱し、
之御會葬下され且つ、供物並御香華等
頂戴し、御芳志の段誠に難有く厚く御
礼申上申す。

実は区内の申合により會葬御礼参上
及香典送し等の儀取り止めますので心
苦しは御座います。が、萬事御覚悟を頂
き、本儀紙上を以て御礼申述べます。
一九五三年十二月三日

妻 山内 みつ
親戚 吉田 興三 吉
菅井 國三 郎

カウリア区各位様
並各 位 様

シツチオ 買ひ度い
一、市街地より十キロ米内外の処
一、面積 十アル乃至十五アルケル
一、牧場向き地形たること
右中心当りの方は左記へ御しらせ
下さり 委細面談
バストス市アテマルスバロス街角
佐藤 商 會

はさみ
かみそり
バリカン
ノコギリ

上手にとぎます
どうぞ何なりと御用命下さい
(マツケテカキマス 街との交又点) 本レガニア通
アルミラシテ アレシヤンドリノ街 二軒目
青 木 辰 藏

年末年始 御贈答品

新型の品揃ひました
奉仕的の大勉強

ミウデーザ
化粧品
アールサ
ポルサ

みな目新しいものばかり

雑誌・ジスコ・カネツタ 其他一式

どうぞ皆様のバザール木村を御利用下さい

フレシエンテ
ウァルガス街

バザール木村

Bazar Kimura



福引券付き

年末大賣出し

十二月一日より
来年一月五日迄

御買上五十針毎に抽籤一枚
(抽籤は一月五日迄)

- 一等景品 REI印 石油ホゴン台付
- 二等 アルミ製台所道具一組棚付
- 三等 圧力鍋
- 四等 上等お茶セット 模印付
- 五等 上等コーヒーセット
- 六等 シーカラ箱入り 電気アイロン
- 七等 カラス製ペンシヤ用具一揃
- 八等 カラス製フレスコ用具一揃
- 九等 カラス製サシガ 用具一揃
- 十等

毎度御引立に預りありがとうございます

年末の御買物は是非当店にて

カーホクリスタイル

阪東商店

西本願寺開教所之長

渡辺静波師末植

佛教講演演會の夕

十二月三日午後八時半 西本願寺伯國開教所
々長渡辺静波師 佛教講演會が産業會
館で開かれ深遠な佛教哲理を平易に説い
て聴衆に多大の感銘を与へられた。

廣告の一戦は

十二月に開きつてはじまる

先づ皮切りは八重樫家具店のタニス
特賣と、クリスタイルと改東ガラス巻
店の福引券付年末大賣出し
ついで、バザール木村、新型流行のミ
ウデーザをうんと揃えて破顔の値段で
年末特賣……

まったアモルトス、バルロスの商店主たち
秘策を練って、連合大賣出し、つまり
聯合艦隊を出す。恐ろしい景氣時で大
景品をファンタジに差上げお客様の膝を、
あたためようといふ策戦

さて、いちはい、福引付々々

加 盟 店

GRANDE SORTEIO ANUAL

Associação da Rua Ademar de Barros

da 10 de Dezembro-1953 a 10 de Janeiro-1954

連合大賣し

アデマルデバロス街

バカール キンタ 木林 雑貨店	コンフェイスリア フルタ 古田 菓子店	カーホ タロタ 太郎田 商店	バザール ホンボ 守越 商店	カーホ カジタ 梶田 商店	カーホ エスペランサ 藤原 金物店	カーホ マエタ 前田 呉服店	フルマシア セントラル 西川 薬局	カーホ コロニア 重道 商店	カーホ スギ 杉 呉服店	キタンタ フルサワ 古澤 商店	バール ナカムラ 中村 商店	フルマシア ウニオン 板垣 薬局	バール セツテ 本田 商店	順存 不同
--------------------	------------------------	-------------------	-------------------	------------------	----------------------	-------------------	----------------------	-------------------	-----------------	--------------------	-------------------	---------------------	------------------	-------

舌代

永らくの御引立と御愛顧に酬ゆる為め 加盟店が揃ってお客様に喜んで頂く左記の様な沢山の賞品を取揃えて

大賣出し

を開始いたしました
何卒此の福引を御利用下さい

大賣出し期間 十二月十日より
明年一月十日迄

福引景品付

連合特別奉仕

年末年始 大賣出し

賞品

- エスペリアル。一本 クリスマスレーラ 茶道具一式入り
- 一等 三本 特製スワルタ ローパ
- 二等 一本 上等茶器 一。ペッサ付き
- 三等 一本 上等目醒し時計
- 四等 一本 上等毛布
- 五等 二本 炊事道具一式
- 六等 五。本

現金御買上は。針に対し福引券一枚 差上げます

福引場所

奥田。歯科。医院。の前。サ。ロン。

福引の日

お各様各々御自身で引いていただきます

- 第一回 十二月二十四日より廿一日迄
- 第二回 明年一月四日より十日迄